

今井館聖書講堂 ランチタイムコンサート

2026年 10月 11月 12月 室内楽演奏会シリーズ
～ピアノトリオ～

10月9日 (金)

メンデルスゾーン：ピアノ三重奏曲 第1番 ニ短調 作品49

ピアノ：奥村友美 ヴァイオリン：本橋はる子 チェロ：楨岡絵里香



11月13日 (金)

チャイコフスキー：くるみ割り人形 より

ピアノ：塚越恭平 ヴァイオリン：本橋はる子 チェロ：谷口宏樹



12月11日 (金)

スメタナ：ピアノ三重奏曲 ト短調 作品15

ピアノ：西山雅千 ヴァイオリン：本橋はる子 チェロ：懸田貴嗣



12:15~12:45 (12:00開場)

入場料 500円 (お申し込み不要)

主催：今井館教友会

会場：今井館聖書講堂

文京区本駒込6-11-15

Tel: 03-6277-5669

月・水・金 10:00~17:00





<ピアノ：奥村友美>

静岡県浜松市出身。4歳よりピアノを始め、第46回全日本学生音楽コンクール全国大会中学生の部第1位受賞。東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業時に同声会賞および読売新人賞受賞。19歳でバデレフスキー国際ピアノコンクール（ポーランド）第1位受賞。2001年に渡独し、財団法人ロームミュージックファンデーションの奨学生として、ベルリン音楽大学ハンス・アイスラー及び同大学院にて研鑽を積む。2005年ケルン国際ピアノコンクール第3位。2006年ゲザ・アンダ国際ピアノコンクール（スイス）第3位を受賞。2008年ベルリン音楽大学ハンス・アイスラー大学院を最高位の成績で卒業、ドイツ国家演奏家資格を取得。浜松フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、ブランデンブルク管弦楽団、西ドイツ放送交響楽団、チューリヒ・トーン・ハレ管弦楽団、チェコ国立モラヴィアフィルハーモニー管弦楽団など国内外のオーケストラと協演。NHK-FM「名曲リサイタル」、第30回横浜市国際招待ピアノ演奏会に出演するなど国内外にてソロ・室内楽の分野で意欲的に活動する。2019年、映画「蜜蜂と遠雷」にて主演・松岡茉優のピアノ演技指導と手の吹替を担当。これまでに安倍紀子、故・中島和彦、倉沢仁子、橋本枝未子、ゲオルク・サヴァの各氏に師事。現在演奏活動の傍ら国立音楽大学、長野県小諸義塾高等学校音楽科にて後進の指導にあたっている。

ホームページ <http://tomomiokumura.com>



<ピアノ：塚越恭平>

千葉県生まれ。東邦音楽大学演奏家コース卒業。第66回日本学生音楽コンクール東京大会高校の部入選。第6回エレーナ・リヒテル国際ピアノコンクール第2位。第11回サンハート・アンサンブル・コンクール最優秀賞、アルソ出版社賞を受賞。クロレ四重奏団として活動。これまでに、太田幸子、藤井一興、マーティン・ヒューズの各氏に師事。



<ピアノ：西山雅千>

桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学卒業。1999年に渡英して英国王立音楽院、英国王立音楽大学を卒業。国内外のコンクールで数々の賞を受賞。18年間、ロンドンを拠点にヨーロッパと日本での数多くのコンサート、音楽祭で精力的に演奏活動を行い、テレビやラジオなどにも出演する。ソロでの演奏活動に加え、器楽や歌とのアンサンブルの経験も多い。2011年、ロンドンのセント・ジェームズ・チャーチ・ピカデリーでショスタコーヴィチのピアノとトランペットの為のコンチェルトをBBC交響楽団のトランペット奏者Martin Hurrell氏と共演しMusic&Vision(英)より「非常に驚くべき演奏」と絶賛される。ライフワークであるバッハ・ゴルトベルク変奏曲プロジェクトとして30回以上のリサイタルをイギリス各地で行っておりClassical Source(英)より好評を得る。ロンドンのショット・ミュージック店でのMarlborough Recital Seriesのアーティスト・ディレクターとして2011年から様々なコンサートの企画・演奏を行い、日本でも同シリーズを2017年から開催している。2020年にモスクワから帰国し、現在日本を拠点に音楽活動を行い、国内外のピアノコンペティションの審査も務める。これまでに林秀光、加藤朋子、James Lisne、Yonty Solomon、Jacques Ruvier、Vanessa Lataarche、Joseph Seiger、Clifford Bensonの各氏に師事。ホームページ <http://www.masachinishiyama.com>



<チェロ：横岡絵里香>

6歳よりチェロをはじめ、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学卒業。これまでに、田中美光・三木敬之・菊地知也の各氏に師事。札幌ジュニアチェロコンクールにて奨励賞受賞。芸大定期室内楽やアルゲリッチ音楽祭に参加。現在はフリーランスのチェリストとして、NHK交響楽団、東京都交響楽団など全国のオーケストラにて客演奏者として出演している。クラシックにとどまらず、数々のレコーディングやライブのサポートなどを行う。その他CMや映画、ドラマ、ゲーム音楽など数々のレコーディングに参加。また、「ライオンキング」「オペラ座の怪人」「チャーリーとチョコレート工場」など、長年にわたりミュージカルにも出演。近年では、ソロ活動や室内楽に加え、後進の指導やジュニアコンクールの審査など様々な分野での活動を行っている。



<チェロ：谷口宏樹>

神奈川県横浜市出身。8歳よりチェロを始める。東京音楽大学卒業。現在は、シアターオーケストラトウキョウをはじめとするオーケストラ、室内楽奏者として東京を拠点に活動するほか、テレビ収録、レコーディング、ミュージカル、ライブサポートなどで活躍。またNHK「ゆうがたクインテット」にて演奏指導を勤めるなど、幅広い活動を展開している。ホテルオークラ・パロンコンサート、ホテル談話館ディナーショー、FESTIVAL MUSIK GEDUNG KESENAN JAKARTAなど、これまで多数の演奏会に出演。栃木フィルハーモニー交響楽団とコンチェルトを共演。



<チェロ：懸田貴嗣>

上智大学文学部卒業。東京芸術大学院音楽研究科修士課程古楽専攻修了後、ミラノ市立音楽院で学ぶ。2004年イタリア・ボンポルティ国際古楽コンクールで、リクレアツィオン・ダルカディアのメンバーとして第1位と聴衆賞、ORF録音賞を受賞。国内では、バッハ・コレギウム・ジャパン、レ・ボレアードなど国内の主要な古楽オーケストラ、音楽祭のコンサート、レコーディングに参加。2005年以降海外での活動を始め、ヨーロッパ諸国やトルコ、メキシコなどの世界各地の音楽祭に招かれている。これまで通奏低音奏者として、エマ・カークビー、ミカラ・ベトリ、ロベルト・マメリ、エンリコ・オノフリ、エンリコ・ガッティ、グナール・レツボール、ガエタノ・ナジッロ、波多野睦美など著名なソリストと共演している。2007年度文化庁在外派遣研修員。CD「ランゼッティ／チェロ・ソナタ集」(ALCD-1131)をリリース、音楽誌等で話題となり、2012年度第67回文化庁芸術祭優秀賞を受賞。2017年度は北海道教育大学岩見沢校音楽文化専攻特任准教授を務めた。横浜シンフォニエッタ・シーズンメンバーはじめ、モダン楽器の分野でも活躍している。アンサンブル・バルテノベ主宰。ケアルテット・オチエアーノとしても「ギロヴェッツ／弦楽四重奏曲42」(OMF)をリリースした。国際古楽コンクール山梨、下田国際音楽コンクール審査員を歴任。



<ヴァイオリン：本橋はる子>

東京藝術大学卒業、同年2002年に渡英。YBP国際コンクールシニア部門優勝。Juneses Musicales International Competition (セルビア)にてセミファイナリスト。1997年、Pacific Music Festivalに指揮者佐渡裕氏の推薦により最年少で参加。英国においては、2005年、王立音楽院演奏家ディプロマコース終了、ディプロマ並びに終了演奏成績優秀によりDipRAM賞を合わせて受賞。音楽院在学中にWilfred Parry Prize、Mortimer Development Awardsを受賞。2007年、ロンドン大学より現代音楽専攻にて修士を取得。2012年、王立音楽大学より理学修士を取得。(演奏家を医学・脳科学の観点より研究。卒業論文-ヴァイオリンの修復技術に関して-英国科学博物館関連プロジェクト、指導教授Aaron Williamon) これまでに、蓬田清重、清水高師、Remus Azoiteiに師事。2013年に11年に渡るイギリスでの音楽活動を終え帰国。現在は、ソロ／室内楽演奏活動の他、全国各地のオーケストラの客演をフリーランスとして活動。2014年にピアニスト奥村友美とデュオを結成、2022年にアンサンブル・フォス結成(ヴァイオリン:本橋はる子 ヴィオラ:中村紀代子 チェロ:懸田貴嗣 ピアノ:西山雅千) 弦楽トリオ、ピアノカルテットを中心にゲストを迎え様々な編成にて室内楽演奏活動を企画予定。ホームページ www.motohashiharuko.com